

## 平成29年度上田地域「地域発 元気づくり支援金」 事業実施結果一覧

整理番号	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (①:ソフト事業 ②:ハード事業)	総事業費(円)		講評
							うち支援金額	
1	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	上田市結婚支援事業	上田市	未婚化の解消に向けて、結婚推進セミナー、未婚者交流イベント、親世代対象の婚活セミナー、結婚相談員のスキルアップセミナー等の結婚支援事業を展開する。 ①事業委託料(1,789,348円)	1,789,348	1,431,000	計画どおり事業を実施したものの、目標とする婚姻件数の数値には到達しなかったが、イベントの開催だけでなく相談員や親世代向けのセミナーを開催し、地域のサポート体制の構築とスキルアップが図られた。今後は、セミナーの参加などの婚活を実践していない独身者へのアプローチも課題となる。
2	教育、文化の振興	ソフト	市民協働文化情報発信事業による地域文化の育成	上田市	サントミューゼの機関誌を発行し情報発信することで、住民が広く芸術文化に触れるきっかけづくりとし、文化事業の可視化により住民に文化の薫るまちづくりの具体的なイメージを共有してもらう。 ①機関紙の企画・制作・印刷委託費(4,946,400円)	4,946,400	3,709,000	掲載内容を工夫して話題性のある機関誌を作成することができた。参加型事業を積極的に取り上げることにより、市民の文化意識の向上も期待できる。
3	環境保全、景観形成	ソフト・ハード	信州上田景観・花と緑まちづくりフォーラム事業	上田市	都市景観賞、花と緑のまちづくりコンクールの一掃感を醸成する市民参加型のフォーラムを実施し、良好な景観の形成に対する市民の意識の高揚を図る。 ①講師謝金、印刷費等(518,806円) ②レリーフ設置費(318,480円)	837,286	548,000	景観づくりに係る住民協働の新たな取り組みとして企画することによって、行政と住民が一体となって景観づくりについて考察できる機会となった。一過性のイベントに終わらず、受賞物件を活かした取組等、今後の地域づくりにつながる工夫が求められる。
4	保健、医療、福祉の充実	ソフト	「二十歳無料歯科検診」事業	上田市	二十歳の成人者を対象に、歯の健康管理の重要性について啓発を行うとともに、将来を見据えた歯科・口腔管理を行う動機づけとするため、無料の歯科検診を実施する。 ①検診委託料、印刷製本費(967,770円)	967,770	730,000	平成29年度は当初目標としていた受診者数には到達しなかったが、平成30年度以降も継続して実施いくことで若い世代からの健康づくりへの意識の高揚が期待される。
5	環境保全、景観形成	ソフト	ふるさと公園あおきみんなの公園プロジェクト	青木村	ふるさと公園あおきみにおいて、花壇コンテスト、子供による植樹等を実施することで、地域の公園に対する親しみを深め、来訪者へPRする。 ①苗代、苗木代等(1,435,887円)	1,435,887	1,076,000	公園を地域住民の手でつくりあげていくコンセプトに基づいた事業。住民が公園を利用するだけでなく、公園づくりに参加することで、みんなに愛される公園になることが期待される。花壇コンテストの参加団体数については目標は達成できなかったものの、団体数は事業初年度であるH28と同数、人数は1割以上増加した。また、当年度は小学生のツツジの植樹も実施し、子どもたちの地域への愛着の醸成が期待される。
6	特色ある観光地づくり	ソフト	信州上田地域の山の魅力PRプロジェクト	一般社団法人 日本スカイランニング協会(上田市)	上田地域において、スカイランニングが地域スポーツとして育つ可能性があること、適した山々が広がり山の魅力を感じられる地域であることを国内外に向けて動画と刊行物でPRする。 ①動画・写真撮影費、印刷費等(1,524,079円)	1,524,079	1,082,000	スカイランニングという需要に特定してPRすることにより、情報の受け手に明確な来訪の目的を与えることができた。開催された4本のレース(イベント)に参加するため、各レースで数百名が上田地域に来訪した。地域の地形を活かしたこのレースの開催数を重ねることで、スカイランニング開催地としての上田地域の印象づけが期待される。
7	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	無茶フェス上田大会	無茶フェス上田大会実行委員会(上田市)	地域住民、特に若者に企画段階から参加してもらい、信州プロレス「無茶フェス上田大会」や地域魅力発掘会議を開催するとともに、観戦者から児童養護施設へのプレゼントを受け付け配布する「伊達直人作戦」を実施する。 ①ゲスト謝礼、会場設営費、チラシ印刷費等(2,496,684円)	2,496,684	1,997,000	地域外からのイベント参加者数は目標の200名に届かず86名であったが、その分、地域住民楽しめるイベントとすることができた。ワークショップからイベント開催まで携わった若者が事業を通して地域づくりの面白さに気づくことで、今後も地域の様々な活動に携わっていくことが期待される。一過性のイベントに終わらず、今後の地域づくりにつながる工夫が求められる。
8	教育、文化の振興	ソフト・ハード	信州上田の産(蚕)業遺産を継承する事業	NPO法人 絹の文化・蚕都常田館(上田市)	常田館製糸場施設を上田歴史周遊の一観光拠点とするため、ボランティアガイドを養成するなど見学者の受け入れ環境を整えるとともに、情報発信を行う。 ①パンフレット作成費、HP制作費等(890,820円) ②看板制作費(140,000円)	1,030,820	811,000	屋外看板、タペストリの設置により、施設内の案内がわかりやすくなり、来場者から好評であった。また、体験型動態展示により小学生の社会見学で体験授業を実施することができた。HP、パンフレットの導入により、受付手続きの簡略化や効果的な情報発信に結び付いた。
9	中止							
10	保健、医療、福祉の充実	ソフト	安心して老いを迎えられる街づくり	NPO法人新田の風(上田市)	地域全体で高齢者、認知症の方を見守り支えるため、人材育成やケアネットワークの構築のための講座・研修会、啓蒙活動、高齢者見守りキーホルダー事業を実施する。 ①講師謝金、資料集等印刷費、キーホルダー作成費等(2,676,706円)	2,676,706	2,003,000	高齢者のみの世帯が増加する中、自分が認知症になったとき、死亡したときについての不安を抱くことが多くなると思われる。住民間で見守り支え合う体制を構築することによって、お互いに安心して過ごすことができる地域づくりを進めることができた。

## 平成29年度上田地域「地域発 元気づくり支援金」事業実施結果一覧

整理番号	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (①:ソフト事業 ②:ハード事業)	総事業費(円)		講評
							うち支援金額	
11	保健、医療、福祉の充実	ソフト	福祉のデザインとアートで障がいのある人の「しごと」を考える事業	NPO法人リベルテ(上田市)	障がいのある人の「しごと」について、継続的に地域との協働の機会を作るため、先進的な取り組みのパネル展示やトークイベントの開催、報告書作りを行う。 ①印刷費、講師謝礼等(866,839円)	866,839	610,000	福祉分野に先進的なアートやデザインを導入することで、人々の福祉事業への関心を高め、障がい者の就労支援等を図る取組。障がいのある人が制作した魅力的な作品の展示会や、障がいのある人の「しごと」について語り合うシンポジウムを開催することで、働く意味や居場所づくりについての考える場を提供し、障がい者が役割を担って生きていくことができる社会づくりについて、議論を深めることができた。
12	教育、文化の振興	ソフト	上田街中演劇祭2017ー演劇による中心市街地振興と劇場文化担い手育成事業	シアター&アーツうえだ(上田市)	演劇を身近に体感し、中心市街地が文化的に活性化していくことを目指して、上田中心市街地の複数会場で演劇祭を開催する。 ①出演料・宿泊費、舞台運営委託費等(2,196,218円)	2,196,218	1,446,000	中心市街地の人気店舗や空き店舗等を活用した演劇祭の開催により、手軽に演劇鑑賞ができたことで、地域住民の文化芸術に触れる機会が増え、世代間交流や観客同士の新たな交流が生まれ、商店街の賑わいと活性化にも寄与した。
13	特色ある観光地づくり	ソフト	太陽と大地の聖地・別所温泉を定着させる地域活性化事業	別所温泉活性化プロジェクト(上田市)	「太陽と大地の聖地・別所温泉」というテーマで、オリジナルブランド商品の普及、ヨガなどの体験プログラム、地域への情報発信を行う。 ①印刷費、講師謝金等(1,666,788円)	1,666,788	1,236,000	別所温泉の従来の「寺・温泉」に頼った観光地づくりを見直し、「太陽と大地の聖地・別所温泉」というテーマのもと、新たな魅力づくりに取り組んだ。新たなテーマの地域への浸透にはさらなる努力が必要と思われる。オリジナル商品ブランドである「聖地の恵」の名称から「レイライン」をイメージすることが難しかったため、広報の仕方にも工夫が必要と思われる。
14	特色ある観光地づくり	ソフト	上田地域の新たな観光戦略づくり事業	上田地域観光協議会(上田市)	上田地域の観光動向調査と観光意向調査を実施し、その結果を活かした観光情報発信を行い、観光誘客を図る。 ①調査・研究、パンフレット企画・印刷等(9,430,560円)	9,430,560	7,544,000	観光客の「来訪前」と「来訪中」における、欲しい情報の違いに着目した効果的な情報提供ツールを作成することができた。「誘客一満足度向上→再度来訪」といった好循環が期待される。
15	特色ある観光地づくり	ソフト	信州シルクロード・旅物語づくりと情報基盤整備	シルクロード長野ネットワーク(上田市)	信州シルクロード旅物語づくりに向けたモデルツアー実施とモデルコースづくり、観光情報提供のためのデジタルアーカイブの構築、観光シンポジウムを行う。 ①モニターツアー経費、観光アプリ開発、シンポジウム経費(1,192,464円)	1,192,464	892,000	特定の分野に焦点をあてて、当該分野に興味を持つ観光客の満足度向上に資する事業といえる。現在は関心の高い分野であるとは言えないため、今後は、信州シルクロード・養蚕産業の面白さや興味深さをさらに啓発できることが望まれる。
16	保健、医療、福祉の充実	ソフト	アクティブシニア社会参加支援事業	NPO法人 健康サポートまごの手(上田市)	シニアサポーターがより自信を持って地域リーダーとして活躍できるよう、音楽レクリエーション用のDVDテキストを作成し研修会を行う。 ①DVD作成費、講師謝金等(1,524,601円)	1,524,601	1,217,000	体操の動作を視覚的に覚えられるDVDを作成することにより、初めての参加者でも分かりやすく、多くの人が楽しめるツールを作成することができた。また、このDVDを全自治体に配布するとともに、研修会で多くのサポーターを養成したことで多くの住民が事業成果に継続的にアクセスしやすい環境を整えることができた。
17	保健、医療、福祉の充実	ソフト	シニア世代を中心とした健康づくり推進事業	NPO法人 うえだミックススポーツクラブ(上田市)	シニア世代を中心に、健康づくり、特に運動継続を進めるため、コミュニティ専門講師による講演会や運動実践講習会を開催する。 ①講師謝金、チラシ印刷(638,060円)	638,060	342,000	健康づくりとして、気軽に楽しく運動を継続できるよう仲間づくりの機会を創出した。「運動を実践する仲間づくり」という目的に対する手法について、今後の発展には工夫が求められる。
18	教育、文化の振興	ソフト	子どもアトリエ創造活動プログラムin上田市立美術館	子どもアトリエ運営委員会(上田市)	小中学生までの子どもたちが、芸術に触れ創作活動に取り組み、自立心や情操を育むことができるよう、様々なプログラムを展開する。 ①講師謝金、消耗品費(688,122円)	688,122	516,000	普段、園や学校で体験できないような芸術活動を通し、子どもたちの創作意欲をかき立て、自分で考え表現したり、他者の作品を鑑賞し、考え方や価値観の違いを認めたりする機会となった。
19	保健、医療、福祉の充実	ソフト	あそびの森2017(子ども～大人のあそび交流活動&遊育環境を考える大人向け研修活動)	あそびの森実行委員会(上田市)	豊かな子育て環境や遊び環境を広げるため、地域の親子や様々な世代の大人が集い、「あそび」に関わるイベントやシンポジウム等を開催する。 ②講師謝金、旅費等(1,567,532円)	1,567,532	1,247,000	事業参加者の増加という数値目標は達成できなかったものの、支援事業を通して行政や市民団体との協働関係を構築することを意識しながら実施できた。支援終了後も協働関係を活かして事業を継続していくことを期待したい。
20	農業の振興と農山村づくり	ソフト	「信州上田のなないろ農産物」ブランド化事業	上田地産地消推進会議(上田市)	上田の農産物のブランド化と地産地消を推進するため、首都圏での商品展示会に参加するほか、うえだみどり大根の収穫体験、料理教室等を行う。 ①商品展示会出展料、収穫祭経費等(2,303,687円)	2,303,687	1,842,000	全国的な外食・小売業界から、地元の学校まで幅広くPR活動を行い、メディアにも多く取り上げられた。併せて地元飲食店や宿泊業者へのPRも積極的に行うことで、地域の名物としての認知度向上を図りたい。
21	商業の振興	ソフト	信州上田老舗企業に学ぶ魅力活用事業	上田商工会議所(上田市)	力強い地域づくりを目指し、地元大学と連携して、上田地域の創業80年以上の企業の経営手法の実態を調査・分析し、結果を活用したセミナー等を実施する。 ①調査分析料、報告書印刷、講師謝金等(1,689,402円)	1,689,402	1,267,000	報告書は、調査・分析結果のみならず、経営者の生の声も掲載されており、老舗企業が上田地域でどのような思いで経営を続けているか伝わるものとなっている。起業家や学生向けのさらなる活用にも期待したい。



平成29年度上田地域「地域発 元気づくり支援金」事業実施結果一覧

整理番号	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (①:ソフト事業 ②:ハード事業)	総事業費(円)		講評
							うち支援金額	
22	特色ある観光地づくり	ソフト	別所線と走ろう、歩こうラン&ウォーク	別所線と走ろう実行委員会(上田市)	別所線沿線でランニング&ウォーキングイベントを開催し、翌日にランニング講習等の併催イベントを行う。併せて地域の情報発信を行い、観光客の集客につなげる。 ①チラシ等印刷費、会場設営費、講師謝金等(2,810,919円)	2,810,919	925,000	イベント参加者は走るだけでなく別所線に乗車することもでき、地域交通の存続支援に寄与した。
23	その他(産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト	東信州広域連携による次世代産業創出事業	東信州次世代産業振興協議会(上田市)	次世代産業を生み出す分野別研究会の立ち上げの基盤づくりとして、勉強会、セミナー、HPIによる情報発信、ビジネスマッチング会等を行う。 ①講師謝金、バス代、会場費等(2,800,110円)	2,800,110	2,240,000	人材育成から企業の人材確保支援、研究と産業のマッチング等、多角的な視点で事業を実施し、多くの参加者を得て、東信州地域の次世代産業の創出・振興に寄与した。
24	特色ある観光地づくり	ソフト	鹿教湯発パディケアの普及とパディケアスタッフの養成事業	一般社団法人日本パディケア協会(上田市)	旅行弱者のニーズに沿って旅行をサポートするパディケアスタッフの養成のため、パディケアの概念を鹿教湯温泉から発信し普及啓発する。 ①テキスト、ポスター、チラシ作成費等(1,334,232円)	1,334,232	1,067,000	パディケアという新たなサービスの成立に向けて、環境整備を進めた。パディケアの普及により、旅行を断念していた高齢者や障害者福祉の向上、観光の振興に寄与することが期待される。
25	教育、文化の振興	ハード	「信州爆水RUNin依田川」マスコットキャラクターの着ぐるみ製作	信州爆水RUNin依田川実行委員会(上田市)	大会のマスコットキャラクター「ガッツRUN吉」の着ぐるみを新たに制作して大会を更にPRし、参加者増加や観光振興につなげる。 ②着ぐるみ制作費(750,600円)	750,600	500,000	着ぐるみを活用して他のイベントに参加して、盛り上げ役となることができた。着ぐるみをきっかけにして大会に興味を持たせるさらなる工夫が求められる。
26	教育、文化の振興	ソフト	チャレンジスポーツ塾in真田	NPO法人さなだスポーツクラブ(上田市)	トップアスリートによるスポーツ塾、大人対象のウォーキング塾、障がい者スポーツ塾を開催し、子ども達の心身の健全育成と、より多くの人達の健康増進を図る。 ①講師謝金等(1,021,111円)	1,021,111	702,000	様々な対象者にあわせた運動プログラムを計画し、それぞれの参加者が楽しくチャレンジし、継続できるように実施することができた。
27	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	菅平高原・国際スポーツ交流推進事業	菅平スカイラインレイルランレース実行委員会(上田市)	菅平スカイラインレイルランレースの開催を機に、アウトドア・フェスティバルイベントを開催し、海外からの野外スポーツ体験者や観光客を受け入れる環境づくりを目指して広報活動を実施する。 ①会場設営費、広告料、翻訳料等(1,987,182円)	1,987,182	1,589,000	地域の自然を活かした様々なプログラムを企画して実施した。より効果的な周知方法や需要のあるイベント内容などを検討され、さらに多くの人が楽しめるイベントとなることを期待する。
28	特色ある観光地づくり	ソフト	美ヶ原高原タイムラプス事業	美ヶ原高原タイムラプス実行委員会(上田市)	美ヶ原高原の魅力、タイムラプスを活用してPRするとともに、星空イベント等を実施して観光振興を図る。 ①講師謝金、会場使用料、広告料等(3,452,852円)	3,452,852	2,459,000	イベントの開催のみならず併せて人材育成にも努めており、外部スタッフに頼らず事業を継続していくことが見込まれる。個人の情報発信力が高まっていることから、事業の周知に一層努力され、PR効果がさらに高まることを期待する。
29	特色ある観光地づくり	ソフト	東京芸術大学と連携した、アートによる地域活性化事業「天空の芸術祭2017」	御牧ふれあいの郷づくり協議会(東御市)	東京芸術大学と連携し、地域全体を使った周遊・体験型展示会やスタンプラリーを開催する。 ①作家謝金、会場設営費等(1,927,675円)	1,927,675	1,470,000	地域全体を使った展示を行うことにより観覧者の周遊を図るとともに、多くの地元住民が準備から携わることにより、地域に活気を生み出すことができた。
30	その他地域の元気を生み出す地域づくり	ソフト	田沢地域の魅力を発信・発信。外来者呼び込み実践事業	田沢おらほ村活性化委員会(東御市)	田沢地域のPRと来訪者の増加を図るため、東京都大田区糀谷商店街との交流事業、空き家ワークショップの開催、遊歩道の整備を行う。 ①チラシ印刷費、バス借上料、講師謝金等(664,172円)	664,172	498,000	地域住民が自主的に空き家対策や地域の活性化についてワークショップを開催したり、遊歩道の整備を行うなど地域コミュニティ活動を推進した。また、大田区のイベントに参加し地域の魅力を発信するなど地域の観光振興にも貢献した。
31	教育、文化の振興	ソフト	雷電為右衛門生誕250周年記念 どんどこ巨大紙相撲大会	丸山晚霞記念館協力会(東御市)	雷電にちなんだ地域学習や東御市PRを見据え、性別・年齢の隔てなく誰でも参加し楽しむことができる巨大紙相撲大会を開催する。 ①設営費、材料費、講師謝金等(597,612円)	597,612	478,000	紙相撲力士の制作から大会の開催まで、子どもから大人までの多くの住民等が参加し、地域に活気を生み出すことができた。今後は、紙相撲から雷電に興味を持った子どもたちが、より地域について学ぶ意欲を持てるような発展に期待したい。
32	環境保全、景観形成	ソフト	郷土を代表する水彩画家丸山晚霞のアトリエ「羽衣荘」の整備事業(2年目)	NPO法人ひと・生きもの・暮らし研究所(東御市)	「羽衣荘」庭内の植栽と木々の剪定を行い、丸山晚霞が晩年過ごした庭に近づけ、東御市型グリーンツーリズム事業と連動させる。 ①花苗代、樹木伐採費等(415,720円)	415,720	311,000	環境を整備することでそれまでは十分に活用されていなかった晚霞のアトリエを地域資源とする準備を整えることができた。今後、これを活かした取組に期待したい。
33	教育、文化の振興	ソフト	第20回高所トレーニング国際シンポジウム事業(市民向けシンポジウム及び啓発イベント)	公益財団法人身体教育医学研究所(東御市)	高所トレーニングの理解を深め、市民の湯の丸高原に対する愛着や誇りの醸成及び健康増進の推進を図るため、市民向けシンポジウム及び啓発イベントを開催する。 ①シンポジウム、啓発イベント開催費(3,364,848円)	3,364,848	2,511,000	シンポジウムの開催等により、東御市湯の丸高原が高所トレーニングの適地であるという愛着や誇りを、市民が持つ機会となり、シビックプライドの醸成と健康増進意識の向上が図られた。
34	教育、文化の振興	ソフト	地域ぐるみで家族への想いを共に感じ考える観劇&ワークショップ事業	東御ひだまり家族村(東御市)	家族の大切さや地域づくりを共に考えるきっかけを作るため、朗読劇の公演を行い、ワークショップを開催する。 ①公演料、講師謝金等(2,623,379円)	2,623,379	1,808,000	観劇により、地域の人たちが家族づくり・地域づくりを考えるきっかけができた。観劇後にワークショップを行ったことで、更なる家族間交流と地域のつながりの醸成が図られた。

平成29年度上田地域「地域発 元気づくり支援金」事業実施結果一覧

整理番号	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (①:ソフト事業 ②:ハード事業)	総事業費(円)		講評
							うち支援金額	
35	特色ある観光地づくり	ソフト	マルメロ夜イチ事業	マルメロ市実行委員会(長和町)	道の駅「マルメロの駅ながと」を観光スポットにするとともに地域からの来場者も増やすため、ナイト・マーケットイベント「マルメロ夜イチ」を開催する。 ①会場設営費、広告料、ハッピー製作代等(2,430,404円)	2,430,404	1,654,000	集客力が小さい夜の「道の駅」を活用した、新たな観光地域づくりの取組であるとともに、観光客と地域住民との交流を図ることができた。
36	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	NAVI CAFE MEET in NAGAWA事業	NAVI CAFE MEET in NAGAWA実行委員会(長和町)	ビーナスラインを訪れる観光客、地域住民を対象にした、モータースポーツファン向けイベントに併せて、長和町特産品・観光情報発信のブースを設けておもてなしを行う。 ①広告料、会場設営費等(1,770,190円) ②テント購入費(566,784円)	2,336,974	1,609,000	新たな客層をターゲットに、町の魅力発信を展開するイベントを開催したことで、今後長和町に新たな集客が期待できる。
37	農業の振興と農山村づくり	ソフト	青木村産にんにく普及・振興事業	NPO法人あい・友(青木村)	地域のにんにくを特産品としてブランド化するため、普及啓発を図るとともに、販売促進事業を行う。 ①種にんにく購入費、販促物制作費等(5,275,016円)	5,275,016	3,245,000	地元産にんにくの生産振興や、高付加価値化に取り組むとともに、村と連携した収穫体験ツアーなどのイベントを実施した。また、新工場が建設され、販路も拡大されることから、さらなる生産拡大が可能となっている。
38	農業の振興と農山村づくり	ソフト・ハード	マメからはじめる手作りみそ	青木村女性の会かたくりの会マメ部(青木村)	村内において親子で大豆栽培から味噌作りまでを行うことで、地消地産の推進を図るとともに、村の特産品や給食の食材とすることを目標に、指導者を迎えて活動する。 ①講師謝金、作業用品等(654,655円) ②ビニールハウス(489,207円)	1,143,862	889,000	「大豆栽培(土づくり+播種+一般管理+収穫調整)+麴作り+味噌作り」の全工程に地域で取り組んでいる。事業で購入した機器類も活用され、大豆の作付け拡大が図られるとともに、青木小学校との麴作り・味噌作りを行うなど、食農教育にも生かされている。
39	地域協働の推進	ソフト	御堂地域活性化プロジェクト	東御市	ワイン用ぶどう団地の開発工事が行われている東御市御堂地域において、観光客を呼び込み地域活性化につなげるため、非農用地の利活用を軸とした構想策定を市民と協働で行いシンポジウムを開催する。 ①ビジョンの作成、講師謝金等(1,500,000円)	1,500,000	1,200,000	「御堂地区活用構想」の策定にあたり、地域住民や関係者等が一堂に集まり、様々な意見を出すことにより各々の考えを共有することができた。今後はこの構想を基に、地域活性化に向けた具体的な取り組みが行われることが期待される。
40	その他(産業の振興及び雇用の拡大)	ソフト・ハード	特産品開発支援及びPR事業	長和町	長和町の特産品開発のため、アイスクリーム開発に必要な機器を購入する。また、長和町特産品PR用のイメージデザインを作成する。 ①デザイン料、ショーケース(522,990円) ②フリーザー、充填機、滅菌庫等(2,874,960円)	3,397,950	2,308,000	計画していた「アイスだったん」の他、「ピオーネ味」のアイスも開発する等、今後地域の特産品を活かしたアイスクリームを開発・製造できる可能性が認められる。販売以外にも宿泊施設で提供することにより地域の活性化が期待される。
41	特色ある観光地づくり	ソフト	『別所市場・太陽と大地のマルシェ』実施に伴う観光資源の魅力発掘と増進	別所温泉観光協会(上田市)	別所温泉中心部の温泉施設跡地において農産物直売所「マルシェ」、ステージイベント、講習会等を開催し、魅力的な場所づくりのきっかけとする。 ①出演料・講師料、設営費、広告宣伝費(1,966,672円)	1,966,672	1,475,000	地元住民と観光客が楽しめるイベントをとおして地元農産物をPRすることができた。地元の農産物が外部から評価されることにより地域内でもさらに注目が高まることが期待される。
42	教育、文化の振興	ソフト・ハード	東御市滋野出身の力士「雷電為右衛門」PR事業	しげの里づくりの会(東御市)	史上最強の力士「雷電為右衛門」生誕250年を迎えた今年、東御市滋野地区が生誕の地であることを地区内外の多くの人にアピールし認知度の向上を図る。 ①リーフレット作成、錦絵デザイン等(233,940円) ②看板設置(1,010,340円)	1,244,280	848,000	リーフレット作成や講演会当の事業により、地域住民に対する雷電為右衛門の業績を広報することができた。また、滋野駅構内に設置した看板により、滋野駅利用者・観光客等への情報発信にもつながった。
合計						84,514,823	61,332,000	

全41事業(申請取下げ事業1件を含まない)